

令和3年第1回定例会3月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、会議については、原則マスクを着用し、換気等の措置を実施の上行いますので、ご理解とご協力をお願いします。
風邪症状（熱、咳、くしゃみ、鼻水等）のある方は、傍聴をご遠慮願います。

発 言 順 位

3月2日（火）

- | | | | | | |
|-----|-----|-----|----|-----------|-----------|
| (1) | 三 好 | 宏 | 議員 | (自民党 真誠会) | …………… P 1 |
| (2) | 梅 田 | 宏 希 | 〃 | (公 明 党) | …………… P 2 |
| (3) | 森 | 勝 子 | 〃 | (維 新 の 会) | …………… P 3 |
| (4) | 出 雲 | 晶 三 | 〃 | (未 来 明 石) | …………… P 4 |
| (5) | 北 川 | 貴 則 | 〃 | (維 新 の 会) | …………… P 5 |
| (6) | 大 西 | 洋 紀 | 〃 | (未 来 明 石) | …………… P 6 |
| (7) | 榎 本 | 和 夫 | 〃 | (自民党 真誠会) | …………… P 7 |
| (8) | 尾 倉 | あき子 | 〃 | (公 明 党) | …………… P 8 |

3月3日（水）

- | | | | | | |
|------|-----|-----|----|-------------|-------------|
| (9) | 楠 本 | 美 紀 | 議員 | (日 本 共 産 党) | …………… P 9 |
| (10) | 吉 田 | 秀 夫 | 〃 | (フォーラム明石) | …………… P 1 1 |
| (11) | 竹 内 | きよ子 | 〃 | (明石かがやきネット) | …………… P 1 2 |
| (12) | 家根谷 | 敦 子 | 〃 | (ス マ イ ル 会) | …………… P 1 3 |
| (13) | 丸 谷 | 聡 子 | 〃 | (未 来 明 石) | …………… P 1 4 |
| (14) | 寺 井 | 吉 広 | 〃 | (自民党 真誠会) | …………… P 1 6 |
| (15) | 国 出 | 拓 志 | 〃 | (公 明 党) | …………… P 1 8 |

3月4日（木）

- | | | | | | |
|------|-----|-----|----|-------------|-------------|
| (16) | 林 | 健 太 | 議員 | (自民党 真誠会) | …………… P 2 0 |
| (17) | 松 井 | 久美子 | 〃 | (公 明 党) | …………… P 2 1 |
| (18) | 石 井 | 宏 法 | 〃 | (自民党 真誠会) | …………… P 2 2 |
| (19) | 飯 田 | 伸 子 | 〃 | (公 明 党) | …………… P 2 3 |
| (20) | 辻 本 | 達 也 | 〃 | (日 本 共 産 党) | …………… P 2 4 |
| (21) | 宮 坂 | 祐 太 | 〃 | (フォーラム明石) | …………… P 2 5 |
| (22) | 林 | 丸 美 | 〃 | (明石かがやきネット) | …………… P 2 6 |

※順位については予定です。

令和3年第1回定例会3月議会発言通告一覧表

(代表質問)

発言順位	1	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 令和3年度当初予算について</p> <p>(1) 中長期的な視点で将来を見据えた経済政策への方針と今後の財政見通しについて</p> <p>(2) 個人・法人市民税がともに減少した要因について</p> <p>(3) 臨時財政対策債発行額の増加について</p> <p>2 新年度の主な取組について</p> <p>(1) コロナ禍における経済対策について</p> <p>(2) 18歳までのこども医療費無償化について</p> <p>(3) 西明石地区活性化に向けた取組について</p>		

(代表質問)

発言順位	2	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>1 新型コロナウイルスワクチン接種について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 接種体制の整備について(2) アナフィラキシー等の副反応対策と相談体制について(3) 接種に係るスタッフ確保とコロナ禍による失業者の採用について <p>2 令和3年度当初予算について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 経常収支比率について(2) 実質公債費比率について(3) 将来負担比率について(4) SDGs 未来安心都市・明石について <p>3 マイナンバーカードの普及促進について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画での位置付けについて(2) 普及に向けた予算確保について(3) 市民への普及促進の取組について(4) 郵便局での電子証明書発行等とコンビニでの交付について		

(代表質問)

発言順位	3	議員名	森 勝子 (維新の会)
発言事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 医療現場の現状と今後の取組について(2) 医療従事者への支援策について(3) シトラスリボンプロジェクトについて(4) 災害時におけるオンライン会議の普及について <p>2 SDGs未来安心都市について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) ジェンダー平等（男女共同参画）について(2) 人と動物が共に暮らすまち、犬猫さつ処分ゼロへの取組について <p>3 西明石地区活性化に向けた取組について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 西明石駅を中心としたまちづくりについて		

(代表質問)

発言順位	4	議員名	出雲 晶三(未来明石)
発言事項	<p>1 新年度予算案における財政状況と、新型コロナウイルスの影響を踏まえた今後の財政見通しについて</p> <p>(1) 市税の減収、基金取崩しの増、市債残高の増と今後の財政見通しについて</p> <p>(2) コロナ禍に伴う歳入減、歳出増が続くことによる財政への影響について</p> <p>(3) 国の財政悪化が本市に及ぼす影響について</p> <p>2 市民生活を守るための重要なインフラ整備について</p> <p>(1) 新庁舎建設事業について</p> <p>(2) 西明石駅周辺のまちづくりについて</p> <p>(3) (仮称)新明石クリーンセンター建設事業について</p> <p>(4) 水道事業について</p>		

発言順位	5	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p>1 コロナに負けない生活支援と福祉の充実について</p> <p>(1) 生活困窮者への支援の現状について (要旨) 新型コロナウイルスの感染再拡大は深刻な経済損失を引き起こしています。この間、収入が減り生活が苦しくなった方への対応は十分だったのでしょうか。現状を把握し、生活困窮を理由に命を絶つことがないように、施策のさらなる展開を望みます。現状とこの間の取組をお聞かせください。</p> <p>(2) 今後の支援策について (要旨) 所得が減少した家計においては、入学関係経費が大きな負担になりかねません。コロナ禍の期間限定で、(仮称) 新年度応援給付金などを実施することはできないのでしょうか。市民の生命、生活を守る支援策の今後の展開をお聞かせください。</p> <p>(3) 未着となった高齢者・障害者サポート利用券について (要旨) 本年2月、高齢者や障がいのある方への緊急生活支援策としてサポート利用券が発行されましたが、残念ながら未着が相次いでそうです。再発防止に向けた今後の対応策をお聞かせください。</p> <p>(4) コロナ対策に有効なデジタル化について (要旨) コロナ禍では、外出自粛などもあり、窓口での対応が困難な事態も想定されます。確かな生活支援を行うためにも、手続き、相談業務などでのオンライン活用等、デジタル行政への対応が不可欠ではないのでしょうか。見解をお聞かせください。</p> <p>2 雇用、所得増につながる地場産業育成について</p> <p>(1) 今後の対応について (要旨) コロナ禍において、飲食店などの対面サービス業は大きな経営不振に直面しています。感染症に左右されにくい新たな雇用、所得を得る仕組みづくりが必要です。一次産業の振興として、後継者問題などの諸課題への支援や、新たな取組を後押ししてはいかがでしょうか。安全でおいしい明石の農水産物の研究や、国内回帰として工場を誘致し、この明石でさらにものづくりが盛んに行える環境づくりなど、検討の余地はあると思います。見解をお聞かせください。</p>		

発言順位	6	議員名	大西 洋 紀 (未 来 明 石)
発 言 事 項	<p>1 新型コロナウイルス禍における市民の安全・安心確保について</p> <p>(1) 災害時の避難所設営について (要旨) 先般発生した福島県・宮城県沖地震の際、避難所内に配備されていた「個別テント」は、新型コロナウイルス感染予防にも有効性があることから、本市も市内の全避難所に「個別テント」を配備すべきである。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染者の病床確保の在り方について (要旨) 本市では、新型コロナウイルス感染者数は減少傾向にあるというものの、無症状、軽症、中等症から急変し、死亡に至った例も少なくない。重症患者以外の感染者の病床を確保しておくべきである。</p>		

発言順位	7	議員名	榎本和夫(自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 福祉人材の確保・育成について</p> <p>(1) 施設と連携した福祉教育の確立について (要旨) 福祉を志す若い芽を育てるためには、学童期からの関わりが重要ではないか。</p> <p>(2) 明石商業高校における福祉科開設について (要旨) 明石市内において介護、障がい者支援を行える福祉人材を育成する教育機関が必要ではないか。</p> <p>(3) 外国人労働者の受入れ支援の体制づくりについて (要旨) 人材不足が深刻化する中、近年増加している外国人労働者の受入れ支援はどうなっているのか。</p> <p>(4) 人材確保及び定着支援について (要旨) 人材不足が深刻化する中、積極的な人材確保や定着支援の施策が必要ではないか。</p>		

発言順位	8	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発言事項	<p>1 骨髄等移植ドナー支援事業の推進について</p> <p>(1) ドナー登録の普及啓発について (要旨) 新年度、新規事業として骨髄等移植ドナー支援を実施する予定であるが、ドナー登録の普及啓発について聞く。</p> <p>(2) 本市におけるさらなる支援への取組について (要旨) 独自で支援に取り組んでいる自治体もあるが、本市のさらなる支援策について聞く。</p> <p>2 路線バス藤江周辺線再編地域への移動支援について</p> <p>(1) 路線バス藤江周辺線再編地域への移動支援について (要旨) 本年4月から路線バス藤江周辺線が再編されるが、地元地域からは移動手段について不安の声をお聞きしている。移動支援についての考えを聞く。</p> <p>(2) 当該地域へのたこバス等の試行運転の実施について (要旨) 高齢者・障害者にやさしいまちとして、総合福祉センターがある貴崎方面、大観、林校区海岸沿線に、たこバス等の試行運転を実施しないかを聞く。</p>		

発言順位	9	議員名	楠本 美紀 (日本共産党)
発言事項	<p>1 ひきこもり支援について</p> <p>(1) 「ひきこもり相談支援課」を「相談支援課」に変更することについて (要旨) ひきこもり相談支援のほか、精神保健や自殺対策などの業務も併せて行うのはなぜか。職員体制はどうなるのか。当事者の方もひきこもり相談支援課のほうが目的が分かりやすく、相談しやすかったのではないか。</p> <p>(2) 家族会への支援強化、家族教室の実施について (要旨) 家族会の存在を市民に周知し、より多くの方が参加しやすいような工夫が必要と考える。コロナ禍で開催が難しい面もあると思うが、家族に対する講座などは引き続き行われるのか。</p> <p>(3) ひきこもりサポーター養成講座、出前講座等について (要旨) ひきこもりサポーターの養成について、ひきこもりの人への支援は、専門的知識が必要であることから非常に難しいと思われるが、誰もがができるものなのだろうか。また、出前講座の実施状況、内容、対象者について聞く。</p> <p>(4) 安心できる居場所づくりについて (要旨) 当事者の方が社会と関わりを持てるようになるまでサポートできるような居場所づくりとなるのか。</p> <p>2 介護保険制度の充実について</p> <p>(1) 総合事業について (要旨) 本市では2017年から要支援1・2の方を対象とした総合事業が行われている。その内容と取組状況を聞く。</p> <p>(2) 認知症サポーター制度の拡充について (要旨) 認知症サポーター養成講座は、認知症の方に対する理解を深めるために有効だと思うが、開催回数、受講者数がまだまだ少ない。新年度の取組を聞く。</p> <p>(3) 高額介護サービス費自己負担額の引上げ及び補足給付対象者の縮小について (要旨) どのように改正されるのか。介護保険利用者への影響はどうなるのか、いつから実施されるのか。</p> <p>3 コロナ禍での生活困窮者施策について</p> <p>(1) 生活保護受給の現状はどうなっているのか。 (要旨) コロナ禍で、倒産、廃業、失業等が増えている。本市の生活保護受給の現状はどうか。</p>		

発言順位	9	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>(2) 生活保護申請の高いハードルになっている扶養照会について (要旨) 扶養照会の範囲、金銭的支援の実態はどうなっているのか。配慮ある対応と申請者の理解を得た上で照会を行うべきと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>(3) 生活困窮者自立支援事業の充実について (要旨) 新型コロナウイルス感染症の影響により新規相談件数が大幅に増えており、受給につながった方は大変助かったと思う。現状と受給期間が終了した方への働きかけはどうなるのかを聞く。</p>		

発言順位	10	議員名	吉田 秀夫（フォーラム明石）
発言事項	<p>1 働きやすい職場環境の整備について</p> <p>(1) 管理職のパワハラ・セクハラに対する処分について (要旨) 昨年12月に管理職のパワハラ・セクハラに対する処分があった。被害を受けた職員の相談から当事者の処分に至るまで、適切に対処されたのか。</p> <p>(2) 被害を受けた職員へのケア、対策について (要旨) 被害を受けた職員の現況について聞く。また、被害を受けた職員を守るための対策は十分に行われたのか。さらに充実させる必要があるのではないか。</p> <p>(3) 再発防止策とハラスメント防止条例の必要性について (要旨) 同様の事案を防ぐための具体的な取組はどのようなものか。組織からあらゆるハラスメントを一掃するため、指針やガイドラインではなく、ハラスメント防止条例の制定が必要と考えるが、市の認識について聞く。</p> <p>2 技術職員の人材確保と育成について</p> <p>(1) 技術職員の人材確保と育成について (要旨) 団塊の世代の退職以降、本市の技術職員は大幅に減少し、高齢化が進んでいる。防災・減災や公共施設等の維持などのため、技術職員の人材確保並びに育成計画を機能させる必要があると考える。人材確保と育成について具体的な取組を聞く。</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 市民病院の医療体制拡充について (要旨) 昨年末の感染者急増で病床が逼迫し、入院できなくなった人もいる。市民病院では、当初予定していなかった重症者の受入れも行わざるを得ない状況となった。医療体制の強化が必要と考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 保健所職員の勤務実態について (要旨) 保健師等の保健所職員の勤務が過酷な状況にある。年末年始における全庁的な応援体制の整備はできていたのか。</p> <p>(3) 保健所の人員体制強化について (要旨) 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、国は保健所において感染症対応業務に従事する保健師について、今後2年間で、現在の1.5倍に当たる2,700名に増やすため、約900名の増員を行う方針を示しているが、本市の対応について問う。</p>		

発言順位	11	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 新型コロナ禍における教育現場での子供たちの環境整備について</p> <p>(1) 緊急事態宣言下での臨時休校措置の検証について (要旨) 新型コロナ禍のため、小中学校においては、令和2年4月9日から5月31日まで臨時休校措置が取られ、夏休みも8月8日から16日までの9日間となりましたが、その検証はどのようにされたのか。GIGAスクール構想、感染者が発生したときの対処など、今後の見通しを聞きます。</p> <p>(2) 中学校1年生への35人学級の導入について (要旨) 新型コロナ禍の中、新年度から少人数学級を一学年だけでも導入することは、子供たちにとって非常によいことだと思いますが、実施に係る教員の確保、及び高丘小中一貫教育校における少人数学級との整合性について、市の見解を聞きます。</p> <p>2 新型コロナ禍での妊婦の感染症対策・支援について</p> <p>(1) 安全・安心な出産を支援するためのPCR検査費用の助成について (要旨) 妊婦のPCR検査の状況について、市の見解を聞きます。</p> <p>(2) 出産前後の支援について (要旨) 新型コロナ禍で里帰り出産ができず明石市にとどまる妊婦が孤立することがないように、不安を抱える妊婦が少しでも安心できるための支援について、市の見解を聞きます。</p> <p>3 地域における小学校就学前の子供を対象とした多様な集団活動事業の支援について</p> <p>(1) 幼児教育・保育無償化の対象外となっている施設について (要旨) 現在、森のようちえんや外国人学校などは、無償化の対象とはなっていません。 子ども・子育て支援法に規定されている地域子ども・子育て支援事業に該当する事業など、無償化の対象外となっている事業に対する支援について、市の見解を聞きます。</p>		

発言順位	12	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p>1 医療的ケアが必要な重度心身障害児への支援について</p> <p>(1) 医療的ケアが必要な重度心身障害児への支援について (要旨) 重度心身障害者の中でも、特に医療的ケアの必要な障害児が通所できる施設は限られており、保護者の負担が大きい。「すべてのこどもたちを、まちのみんなで応援」を掲げる本市において、保護者の負担を軽減し、本人が安心して過ごせる居場所づくりへの支援はできないか。市の考えと今後の予定をお尋ねしたい。</p> <p>2 視覚障害者への情報保障について</p> <p>(1) 視覚障害者への情報保障について (要旨) コロナ禍である今、視覚障害者へは、市から特に重要な情報は提供されているが、点字に加えて、音声での対応や封筒への簡単な点字の印字の統一化などを求める声が上がっている。視覚障害者への情報保障に対する市の考えと現在の取組についてお尋ねしたい。</p>		

発言順位	13	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
言 事 項	<p>1 ヤングケアラーへの具体的な支援について</p> <p>(1) 実態把握について (要旨) 平成30年6月議会において、地域総合支援センターでも対応していくとの答弁があった。その後、本市は実態をどのように把握してきたのか。具体的な支援をしていくためには、市独自の調査を行い、実態を把握すべきと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 日常の見守りについて (要旨) 一番の課題は、当事者であるこどもがヤングケアラーであることに気づかず将来の夢を諦めて成人し、その後の人生に大きな影響を与えるところにある。その課題解決のためには、学校関係者への研修、スクールソーシャルワーカーや担任を持たない教員の増員、地域への啓発等を行い、日頃からこどもたちの様子を見守り、いち早く異変に気づくことが重要であると考え、市の見解を問う。</p> <p>(3) 相談体制について (要旨) ヤングケアラーに気づいた際の相談窓口を明確にするため、専門相談員による相談窓口を開設し、こどもの気持ちを十分尊重した上で、適切な支援に確実につなげていく体制が必要であるが、市の見解を問う。</p> <p>(4) 支援について (要旨) 電話やLINEなどで気軽に相談できる仕組みづくり、ヘルパー派遣などの福祉サービスの提供、進路などの情報提供、当事者同士の交流の場の設置、情報共有できるサイトの開設など、適切な支援を積極的に行うべきであると考え、市の見解を問う。</p> <p>(5) 条例の制定について (要旨) 埼玉県のようにヤングケアラー条例を制定する、もしくは、明石市こども総合支援条例の改正を行い、ヤングケアラーへの支援を明記してはどうか、市の見解を問う。</p> <p>2 自然にもやさしいまちづくりについて</p> <p>(1) 自然にもやさしいまちづくりへの認識について (要旨) 2021年度予算案の重点的な取組において、「自然にもやさしいまちづくり」として、明石の恵まれた自然環境が後世にしっかりと受け継がれるよう、人にも自然にもやさしい持続可能なまちづくりを推進するとの方針を掲げているが、明石の恵まれた自然をどのように認識しているのか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発言事項	<p>(2) 豊かな海づくりとマイボトル普及の推進について (要旨) 豊かな海づくりにおける海洋ごみ問題とマイボトル普及などの啓発活動は、環境教育とSDGs教育を一体的に行うことで効果があると考えますが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 地域循環共生圏構築に関する検討について (要旨) 地域循環共生圏とは、地域資源を最大限活用し、自立・分散型社会の形成を目指すものであるが、なぜ、再生可能エネルギーに特化した検討調査を実施しようとしているのか。再生可能エネルギーの活用は、市域が狭く自然が生活に密着している本市においては、生態系や住環境を壊すことがないように、極めて慎重に検討しなければならない。この点について、検討調査は十分な配慮がなされるのか。再生可能エネルギーに特化せず、広く地域資源の掘り起こしをする方がよいと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(4) 自然観察ゾーン、(仮称)自然観察センターの設置について (要旨) どのような施設となるのか。生物多様性の拠点としての機能を有するのか。自然の生きものとの出会いは、その生態や不思議を語れる人に教えてもらわないと気づかないことも多い。自然観察インストラクター登録制度を導入するなど、明石の環境教育の拠点にしてはどうか。また、安全面への配慮は万全か、市の見解を問う。</p> <p>(5) 明石の大切にしたい生きもの(明石市レッドリスト)の周知について (要旨) こどもたちへの環境学習の教材としてだけでなく、大人も明石の大切にしたい生きものの価値を知り、地域住民と共にその価値を共有し、守っていくことが重要である。どのようなガイドブックを作成し、活用、周知、守るための行動につなげていくのか、市の見解を問う。</p>		
	<p>3 持続可能な財政運営をするための「明石市公共施設等整備保全基金」創設について</p> <p>(1) 公共施設等整備保全基金の創設について (要旨) 公共施設配置適正化計画において、多くの公共施設が老朽化し、改修や更新が必要であることが明らかになっている。本市は、無償化施策等の影響により年々扶助費が増加しており、未来のこどもたちにツケが回るのではないかなど、多くの市民から不安の声を聞いている。そこで、持続可能な財政運営を市民に見える形にするためにも、新公会計制度で導入された減価償却の考え方を取り入れ、将来の施設更新コストを一定のルールの下で積み立てる新たな基金を創設してはどうか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	14	議員名	寺井吉広(自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 公共施設の在り方と今後の福祉施設の整備について</p> <p>(1) 今後の福祉施設の整備の考え方について (要旨) 新年度予算に盛り込まれている高齢者・障害者のための施設整備について、どのような施設を、いつ頃までに、どの程度の規模で整備しようと考えているのか。</p> <p>(2) 既存の公共施設、市有地等の活用について (要旨) 高齢者・障害者施設を早期に整備するためには、既存の公共施設や市有地等を活用することが有効であると考え。現在、検討している候補地はあるのか。</p> <p>(3) 少年自然の家の今後について (要旨) 現在、今後の在り方について検討を進めている少年自然の家について、高齢者・障害者施設に活用できるのではないかと考える。少年自然の家の今後の活用と管理の在り方について、市の見解を問う。</p>		
	<p>2 災害に強いまちづくりについて</p> <p>(1) 災害対策における公助の役割について (要旨) コロナ禍であっても「災害」の発生は待つてはくれない。本市においても、いつ災害が起こってもおかしくない状況である。今求められる公助とは何か、市の見解を問う。</p> <p>(2) 災害時要配慮者対策について (要旨) 明石市避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例が施行され、名簿情報の提供等に係る必要な事項が定められたが、現状はどうか。また、要配慮者避難支援計画が作成されているが、要配慮者一人一人に応じた個別計画が極めて重要であると考え。市の見解を問う。</p> <p>(3) 治水施設の整備について (要旨) あかし安全のまちづくり計画に基づき治水施設の整備が進められているが、治水施設整備の現状と今後の見通しについて問う。</p> <p>3 障害者雇用について</p> <p>(1) 本市の障害者雇用について (要旨) 障害者の法定雇用率が令和3年3月1日から約3年ぶりに引き上げられた。本市は、法定雇用率の遵守はもとより、障害の種類、程度等にかかわらず、できるだけ門戸を広げた積極的かつ計画的な採用に取り組んでいくとしているが、現状と今後の方針はどうか。</p>		

発言順位	14	議員名	寺井吉広(自民党 真誠会)
発言事項	<p>(2) 障害者職員の職場定着について (要旨) 障害のある職員が安心して働くことができる職場環境の整備が必要であるとする。職場定着に向けた取組はどうか。</p>		

発言順位	15	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>1 高齢者の移動支援について</p>		
	<p>(1) デマンド型交通の導入について (要旨) 通院や買い物等の利便性を確保するため、全国の自治体でデマンド型交通の導入事例がみられる。路線バス、たこバス、鉄道等の利用が難しい地域において、改めて導入を検討すべきではないか。</p> <p>(2) 山陽バスの明石駅発着便の廃止に伴う対策について (要旨) 高齢者も多く利用している路線での撤退となる。市として「現段階では代替策などは検討していない」とのコメントがメディアで紹介されていたが、果たしてそれでよいのか。</p> <p>(3) 寿タクシー利用券の今後と条件による増額について (要旨) 公共交通機関の停留所から遠い地域や坂のある地域に住む市民への配慮、さらには年齢により利用条件を優遇するなどしてもよいのではないか。</p>		
	<p>2 外国籍等の児童生徒のための日本語習得支援について</p>		
<p>(1) 具体的な取組内容について (要旨) 新年度の新規事業として取り組む予定であり、すでに試行実施されているようだが、どのような内容となるのか。</p> <p>(2) 日本語指導員と学校教員との情報共有や双方向の情報交換について (要旨) 専門家である日本語指導員と教員との情報の共有や双方向の情報交換が非常に大切になってくるのではないか。今後、校長会をはじめ、様々な機会を通し日本語指導員と教員が連携し、よりよい教育環境を構築していただけたらと思うが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 今後の取組方針について (要旨) 全小学校区に1か所、少なくとも全中学校区に1か所は、同様の取組ができる体制整備が必要ではないか。</p>			
<p>3 放課後児童クラブについて</p>			
<p>(1) 冬休み、春休み、給食のない日も臨時的に放課後児童クラブの利用を可能にしないか。 (要旨) 以前にも増して、仕事を休んだり早退することが困難な時代になっている。生活を支えていくに当たって、夏休みのみの利用と同様、冬休みや春休み、さらには給食のない時などにも、臨時的に放課後児童クラブの利用を認めることはできないか。</p>			

発言順位	15	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>4 新型コロナウイルス対策について</p> <p>(1) 自宅待機者に対し、条件付きで食料や衛生用品を配付し、パルスオキシメーターを貸し出さないか。</p> <p>(要旨) 自宅待機となった感染者が買い物などの外出ができない場合に、市として必要な物資を配付するほか、急変を防止するためにパルスオキシメーターを貸し出さないか。</p> <p>(2) 感染による自宅待機時や、入院時における子ども、要介護者への市の対応・対策について</p> <p>(要旨) 小さい子どものいる家庭では、保護者が感染し入院した場合、その子どもの面倒を誰が見るのかなど、色々と不安は尽きない。また、要介護者のいる家庭も含め、市の対応策を問う。</p>		

発言順位	16	議員名	林 健 太 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 ブロックチェーン等の新しい技術を使った取組について</p> <p>(1) トークン型決済のデジタル地域通貨の発行について (要旨) 本市独自のデジタル地域通貨を発行し活用することにより、市民サービスの向上、企業間決済コストの軽減、行政負担の軽減等、効率化が図れると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 各分野への電子化について (要旨) 行政文書管理の電子化のほか、電子投票、電子図書館なども可能となると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) ブロックチェーン等の新しい技術を使った産業創出について (要旨) 今後発展が予想される分野で成長が期待される企業の誘致や育成が必要ではないか、市の見解を問う。</p> <p>2 介護保険料について</p> <p>(1) 基金の活用方法の在り方について (要旨) 介護保険給付費準備基金取崩し額の妥当性と、今後の介護保険料の見通し及び影響について、市の見解を問う。</p>		

発言順位	17	議員名	松井久美子（公明党）
発 言 事 項	<p>1 自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進について</p> <p>(1) 自治体DX推進計画の推進について (要旨) 2020年12月25日に閣議決定された「デジタル・ガバメント実行計画」を受けて、基礎自治体が2021年1月から2026年3月までに国のデジタル庁と連携しデジタル社会の構築を進めるとされていることから、本市としての認識を問う。</p> <p>(2) DX推進の早急な人材確保について (要旨) 自治体では、DXを推進するCIO（最高情報統括責任者）を設置し、それを支えるCIO補佐官として専門的知見がある人材が求められることから、全国に先駆けた人材の確保と育成が必要である。</p> <p>(3) 2025年完成予定の市役所新庁舎におけるICT化について (要旨) 行政手続きのオンライン化、AI技術等を活用した住民サービスの向上、職員のテレワーク環境の整備や働き方改革についてどのように取り組むのか。</p> <p>2 「2050年カーボンニュートラル」実現のために、再生可能エネルギーの導入を</p> <p>(1) 本市の「2050年カーボンニュートラル」に向けた取組について (要旨) 令和2年3月「気候非常事態宣言」における「ゼロカーボンシティの表明」及び「SDGs未来安心都市・明石」を踏まえた具体的な取組について問う。</p> <p>(2) 公共施設整備における再生可能エネルギーの導入について (要旨) 市役所新庁舎や、（仮称）新明石クリーンセンター等に行政が先導的に再生可能エネルギーの導入を進めるべきである。</p> <p>3 男性職員の育休取得促進を</p> <p>(1) 男性職員の育休取得促進を。 (要旨) 国において、男性の育児休業の取得促進などを柱とする育児・介護休業法及び雇用保険法の改正案が審議されていることから、本市においても男性の育休取得促進を進めるべきである。</p>		

発言順位	18	議員名	石井 宏法 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 水道事業について</p> <p>(1) 職員の年齢構成について (要旨) 水道事業を将来に渡って安定的に運営していくためには、人材の確保が重要である。現状は職員の年齢構成に偏りがあり、業務に関する知識や経験を次世代に継承することが困難になると考えられる。今後の方針について問う。</p> <p>(2) 収支構造について (要旨) 令和7年に単年度赤字になるとの予測がある。収支構造の改善に向けた早急な対策が必要であると考えるが、今後の方策について問う。</p> <p>(3) 経営戦略について (要旨) 水源の確保や、各施設の更新、組織の継続性など、様々な課題がある。今後の経営戦略についての考えを問う。</p>		

発言順位	19	議員名	飯田 伸子(公明党)
発 言 事 項	<p>1 がん患者アピアランスサポートについて</p> <p>(1) サポート対象者の所得制限について (要旨) サポート対象者の条件に所得制限を設けているが、より多くの患者が利用できるような条件の緩和が必要と考える。市の見解を問う。</p> <p>(2) サポート利用回数について (要旨) サポート利用回数は1人につき1品目、1回限りと定められている。しかし、ウィッグや乳房補正具は、劣化や体型の変化に伴い買い替える必要があり、回数制限を緩和すべきと考える。市の見解を問う。</p> <p>2 明石市営住宅について</p> <p>(1) 入居資格に規定されている同居者の要件について (要旨) 明石市営住宅の入居資格の要件としては、同居者は、夫婦または親子を主とする家族を原則としている。しかし、昨今のライフスタイルに応じて、兄弟や親族同士などの同居も認めて欲しいという声がある。市の見解を問う。</p> <p>(2) 単身高齢者向け住宅について (要旨) 社会の高齢化の進展に伴い、生活に困窮している単身高齢者も増加傾向にあるが、民間賃貸住宅への入居は困難である。今後、住宅困窮者のセーフティーネットとしての役割を担うために、単身高齢者向け住宅の供給を増やす必要があるのではないか。市の見解を問う。</p>		

発言順位	20	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>1 市政の懸案事項について</p> <p>(1) 生活保護費の紛失金203万円について (要旨) 事案解決に向けた取組の進捗状況と紛失金への対応について問う。</p> <p>(2) 工場緑地面積率の緩和について (要旨) 明石市工場緑地のあり方検討委員会での検討状況に係る認識を問う。</p> <p>(3) 高齢者・障害者サポート利用券の盗難事件について (要旨) 改善すべき点について認識を問う。</p> <p>2 JR西日本との包括連携協定について</p> <p>(1) 新幹線車両基地について (要旨) 現状と新年度における対応について問う。</p> <p>(2) 大久保駅及び駅周辺の安全対策について (要旨) 大久保駅プラットホームと板額踏切の安全対策について問う。</p> <p>(3) 西明石駅周辺の活性化を目的とした「プロジェクト」について (要旨) 「西明石駅SDGsシティー(タウン)プロジェクト」との関係について問う。</p> <p>(4) 明石駅周辺の活性化を目的とした「プロジェクト」について (要旨) 取組の進捗状況を問う。</p> <p>(5) みどりの窓口廃止などによる市民への影響について (要旨) 認識を問う。</p> <p>3 市役所新庁舎整備について</p> <p>(1) 大規模災害発生時の対応について (要旨) 災害対策拠点としての機能は十分確保されているか。</p> <p>(2) 慢性的分散配置の解消について (要旨) 認識を問う。</p>		

発言順位	21	議員名	宮坂 祐太 (フォーラム明石)
発 言 事 項	<p>1 地方自治法の規定に基づく長期継続契約について</p> <p>(1) 競争性の確保と適切な契約期間の設定について (要旨) 本市の「長期継続契約を締結することができる契約を定める条例に関する取扱要領」によると、契約期間について、物品を借り入れる契約については原則10年を上限、役務の提供を受ける契約は原則5年を上限としています。しかし、市は条例制定時の議論で、前者を5年、後者を3年とする考えを示しており、上限年数を伸ばした理由をお聞きするとともに、適切な契約期間を設定するための方策等、いかにして長期継続契約における競争性を確保していくのか、市の考え方をお聞きします。</p> <p>(2) 長期継続契約を締結することができる契約を定める条例について (要旨) 現状の本市の条例における包括的な規定では、解釈により、いかようにも対象範囲を広げることができます。しかし、長期継続契約は、あくまでも例外的な措置であり、際限なく広げるものではないと認識しており、法律や制度の趣旨も踏まえ、その範囲や契約期間の上限について、内部の取扱要領ではなく、条例で明確に規定する方が望ましいと考えます。条例制定から15年が経過した今、改めて市の考え方をお聞きします。</p> <p>(3) 長期継続契約事務を適切に執行するための方策について (要旨) 長期継続契約の締結に当たっては、他の地方公共団体において、その乱用を避けるため、財務部局との合議を必須と規定している事例もあります。所管課による判断だけでなく、長期継続契約を締結することの妥当性について、当該契約の仕様が適切に設定されているかも含めて精査し、制度を適切に運用するための仕組みが重要と考えます。長期継続契約について、全庁的にさらに理解を深める取組も含め、現状の事務執行と、運用の改善など今後の方策をお伺いします。</p> <p>(4) 市民サービスの向上策について (要旨) 長期継続契約の締結については、経済性や効率性のみを追い求めるのではなく、長期継続による安定性や、民間活力の活用を通じ市民サービスの向上につなげていくという視点が重要であると考えます。契約期間中における物品及び役務の品質を確保するための工夫等、長期継続契約の締結による市民サービスの向上策についてお聞きします。</p>		

発言順位	22	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p>1 こども医療費助成事業について</p> <p>(1) 持続可能な制度設計か。 (要旨) 18歳まで医療費が無償化となる「こども医療費助成事業」が令和3年度予算に計上されている。対象の子を持つ保護者からは歓迎の声もあるが、将来の財政運営に対し不安だという声もある。財政的に持続可能な制度なのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 医療費無償化がもたらす懸念について (要旨) こども医療費の無償化は、子育て世帯の経済的な支援になる一方、数値では見えにくい社会的なデメリットも懸念される。 医師による過剰な医療提供や薬の処方、コンビニ受診、子供の自己管理能力の低下など、子供の健康に関する保護者や教諭等からの実際の声を基に、無償化による社会的影響について、市の見解を問う。</p> <p>2 新型コロナワクチン接種事業について</p> <p>(1) 現段階でのワクチン接種体制について (要旨) 本市における接種体制、準備の状況について問う。</p> <p>(2) LINEを活用したワクチン接種予約システムについて (要旨) 本市は、LINEを活用したワクチン接種予約システムを導入する予定である。人口の約7割弱がユーザーであるLINEの活用は、市民の利便性も高く、合理的・効果的であると考えている。多くの市民が利用できるよう、運用開始時期などの周知についてはどのように行うのか。</p> <p>3 防犯・見守りのための防犯カメラについて</p> <p>(1) 市内に設置する防犯カメラについて (要旨) 防犯はもとより、子供や高齢者の見守りという観点から防犯カメラ設置に積極的に取り組む自治体もある。市が設置する防犯カメラに対する考え方、現在の設置状況について問う。</p> <p>(2) 自治会の防犯カメラ設置への助成について (要旨) 自治会が町内に設置する防犯カメラは、現状では県による補助金と自治会の実費負担で設置している。犯罪抑止、犯人検挙につながるなど、市民の安心・安全な暮らしに貢献しているが、設置の際、市による助成はできないか、見解を問う。</p>		